



ようちび ぶんかさい



今年度も、レインボーホールで、3歳児・4歳児は「くれよんのくろくん」の劇、5歳児は「さるかにがっせん」の劇を発表しました。11月17日(金)の校内発表では幼稚部内で互いの劇を見合い、18日(土)には保護者の方に向けて発表を行いました。今年度は御家族の人数制限をなくし、たくさんの保護者の皆さんに見ていただくことができました。初めての劇発表にドキドキしながらも一生懸命頑張った3歳児の子供たち。台詞や動きを覚えて役になりきって、劇を引っ張ってくれた4歳児の子供たち。どうやってサルをやっつけるか自分たちで考え、長い台詞やダンスを覚えて創作劇を演じきった5歳児の子供たち。学年ごとの成長が感じられた文化祭となりました。

3歳児・4歳児の劇「くれよんのくろくん」



初めはぱんだ組(4歳児)だけで劇遊びを繰り返して楽しみ、劇で歌う『どんないろがすき』の歌の歌詞も、ぱんだ組みんなで相談して決めました！
みんなで劇遊びを始めてからも、役を交代しながら少しずつイメージを膨らませ、自分の演じた役を決めていきました。

本番はそれぞれのいろくれよんになりきった子供たち、それぞれの色に合わせたダンスを覚えて発表しました。くろくんが絵を真っ黒にするシーンや、シャーペンくんが花火を描くシーンでは、観客の皆さんから「わあ〜！」と驚く声や歓声もいただきました。

3歳児は、初めての劇発表でしたが、ダンスや台詞を覚えて楽しく演じることができました。

4歳児は、動きや台詞を覚え、それぞれの役らしい動きを意識しながら演技することができました。また、劇を引っ張る立場として、年下のお友達をリードする様子も見られ、学年を越えた交流の機会となりました。みんなで一緒に素敵な絵を完成させた子供たち、これからもみんなで力を合わせて、いろいろなことにチャレンジしてくれると思います！



5歳児の劇「さるかにがっせん」



5歳児は、毎日の生活の中でも、想像して考えたり、互いに意見を出し合ったりできるようになってきました。

そこで、今年度の劇では、「さるかにがっせん」で、どうやってサルを倒すか。」についてアイデアを出し合い、自分たちのオリジナルの劇を作りました。

- ①どくどくマンが筆筒の後ろに隠れて、毒を投げる。
 - ②カニの子供が、水瓶に隠れて、はさみで挟む。
 - ③クワガタが、地面に隠れて、アゴで挟む。
 - ④キジが屋根の上に隠れて、くちばしで突く。
- という内容に決まりました。



これまでの劇ごっこの経験を活かしながら、歌やダンス、セリフの練習にも毎日積極的に取り組む姿がたくさん見られました。本番では、セリフを覚えて大きく話すだけでなく、仕草やポーズ、表情まで役になりきって演じていました。

劇の最後には、サルがカニのお母さんに謝り、おいしい柿と一緒に食べる場面もありました。全員で楽しく演じきった、心温まる劇になりました。